

# 謹賀新年

常任委員会 平成29年の抱負

住民参画による  
協働の町づくりを目指して

## 総務文教常任委員会



- より安全、安心な学校づくりの推進
- 住民ニーズに合った地域公共交通網の整備
- 生山 敬之
- 庄山 忠文
- 荒木 拓馬
- 杉本 和彰
- 池田龍之介

## 厚生常任委員会



福祉・医療・介護の充実

- 明るく住みよい町づくりを目指します。
- 小山 暁
- 森 潤一郎
- 杉村 幸敏
- 蒲池 恭一
- 高巢 泰廣

## 建設経済常任委員会



農業の活性化と環境整備の促進

- 荒木 政士
- 笹渕 賢吾
- 豊後 力
- 松村 慶次

耕作放棄地を有効活用し、新規作物の導入により地域活性化に取り組む。

○は委員長 ○は副委員長

# 迎春

2017



# 年頭の挨拶



## 町民目線に立った開かれた議会をめざして

和水町議会議長 杉本 和彰

明けましておめでとうございます。議会を代表して、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、日ごろから町議会への深いご理解と、温かいご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、地震、大雨による洪水など自然災害が熊本県各地で発生しており、東日本大震災の復興とあわせまして、今後も日本全体が協力して支援や災害対策事業を促進していく必要性を強く感じているところです。

町議会では、開かれた議会を目指し指針となる基本条例を基に、多くの町民の皆様に、より深く議会活動を理解していただけるよう、町民目線に立った議会運営に取り組んでいきます。

さらに、和水町らしさを感じられる持続可能なまちを実現するため、議会の果たすべき役割と責任を自覚し、皆様の声を町政に反映し、10年、さらにその先、町が発展を続け、住んでよかつた実感できるまちづくりに、議員一同全力でがんばっていく所存でございます。

これからも町民の皆様の声を大切に、さまざまな町政課題の解決に取り組む、安全・安心で、豊かな町民生活の実現に向けて、町執行部に対して政策の提案や各種施策・事業の推進・検証に取り組んでまいりますので、今後とも皆様の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに新しい年が活力にあふれ、町民の皆様が笑顔で暮らせる素晴らしい年になりますよう心より祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



## 議員としての研さん、資質向上に努める

和水町議会副議長 高巢 泰廣

平成29年の年頭に当り謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には日頃より議会に対してのご理解とご協力に心より厚くお礼申し上げます。

昨年に引き続き議長補佐役としての責務を重く受け止め、町民の負託に応え開かれた円滑な議会運営を目指して努力する所存であります。

さて、重要な懸案事項でありました菊水地区学校統合事業は住民投票にて方向性が示され施設整備推進に向けたスタートになる年となりました。

さらには町立病院、きくすい荘の事業改革等々重要課題が山積しております。

また、4月の熊本地震、6月には豪雨災害が発生しました。

被災された方々へお見舞い申し上げますと共に議会として安全・安心な町づくりに執行部と一体となり取り組む事が重要であると痛切に感じております。少子高齢化が進行するなか町独自の施策を講じ、問題解決に執行部と議会が連携して取り組む努力が必要と感じております。

執行部とは緊張関係を保持しつつ議員としての研さん、資質向上に努め町民の負託に応えられる議会運営を目指し誠心誠意努力を尽くしていく所存であります。

町民の皆様の一層のご指導、ご協力を賜わります様お願い申し上げます。ご挨拶と致します。

# 12月議会議案審議

## 採決結果 町長提出議案一覧

議案番号	区分	議案名	審議採決の結果
議案第79号	条例	和水町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第80号	条例	和水町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	〃
議案第81号	条例	和水町税条例の一部改正について	〃
議案第82号	条例	和水町国民健康保険税条例の一部改正について	〃
議案第83号	条例	和水町急傾斜地崩壊対策事業分担金徴収条例の一部改正について	〃
議案第84号	補正予算	平成28年度 和水町一般会計補正予算（第6号）	〃
議案第85号	補正予算	平成28年度 和水町介護保険事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第86号	補正予算	平成28年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第87号	補正予算	平成28年度 和水町簡易水道事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第88号	補正予算	平成28年度 和水町下水道事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第89号	補正予算	平成28年度 和水町後期高齢者医療事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第90号	補正予算	平成28年度 和水町病院事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第91号	その他	字の区域の変更について	〃
議案第92号	条例	和水町一般職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	〃
議案第93号	条例	和水町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	〃
諮問第6号	人事	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	原案決定
諮問第7号	人事	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	〃

## 議員提出議案一覧

議案番号	区分	議案名	審議採決の結果
発議第11号	意見書	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出について	原案可決
	陳情	国民健康保険の改善に向けた陳情	不採択
	その他	閉会中の継続審査について（常任委員会）	原案決定
	その他	閉会中の継続調査について（各委員会）	〃
	その他	議員派遣について	〃

# 陳情等の審査結果

受付番号	受付年月日	件名	審査結果	付託委員会
312	平成28年11月17日	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情書	継続審査	厚生常任委員会
313	平成28年11月17日	「介護保険制度の見直し」と「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を求める陳情書	〃	厚生常任委員会
314	平成28年11月17日	地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める陳情	〃	厚生常任委員会
315	平成28年11月17日	国民健康保険の改善に向けた陳情	不採択	総務文教常任委員会
328	平成28年11月29日	陳情書		配付
329	平成28年11月29日	陳情書		配付
330	平成28年11月29日	陳情書		配付
331	平成28年11月29日	陳情書		配付

### 【継続審査分】

受付番号	受付年月日	件名	審査結果	付託委員会
480	平成27年3月2日	合併特例債の適用期間の再延長を求めることについて（お願い）	継続審査	総務文教常任委員会

## 一般会計補正予算

### 一般会計補正予算

1億1,750万9千円を追加!!

総額 73億4,610万円に増額

平成28年

12月

定例議会  
報告

平成28年12月定例議会が12月9日から15日までの7日間の会期で開催された。本定例会では、町長提出の平成28年度一般会計補正予算など15件（条例の一部改正7件、補正予算7件、その他1件）の議案と、人事の諮問2件が提案され全て原案どおり承認可決された。

今回の主な補正は、内田区のがけ崩れ対策設計監理等委託料と工事請負費4,500万円、また道路新設改良費として江田～高野間の工事請負費2,200万円、土地改良事業費（水田暗渠工事請負費）2,445万円などとなっている。

停滞していた菊水地区学校統廃合事業については方向性が決定し、議会としての責務をしっかりと果たし、早急な実現を目指すことになった。

追加提案された町長の給与に関する条例の一部改正については、可決された。

## 平成28年度一般会計・特別会計補正予算

会計名	追加	歳入歳出予算総額
和水町一般会計	1億1,750万9千円	73億4,610万円
和水町介護保険事業会計	2,668万7千円	15億4,544万円
和水町特別養護老人ホーム事業会計	148万5千円	5億2,521万6千円
和水町簡易水道事業会計	1,756万1千円	1億7,237万8千円
和水町下水道事業会計	245万1千円	1億1,565万円
和水町後期高齢者医療事業会計	11万5千円	1億4,955万2千円
和水町病院事業会計	10万6千円	9億8,531万7千円

**問** 昨年からの、実証実験というかそういうのをやられているが、何十年かかるのか。技術が進歩して光ブロードバンドよりもっと優れたものが考えられるようになった

**答** (町長) 都市部との情報格差是正を目的に実施した事業であり、町内事業者、企業などの地域経済への発展に繋げ、快適な生活環境の構築・整備に努め、地域の付加価値を高め、過疎化の抑制、定住の促進を目指したい。

**問** 昨年から、実証実験というかそういうのをやられているが、何十年かかるのか。技術が進歩して光ブロードバンドよりもっと優れたものが考えられるようになった

**答** (町長) 時が遅きに失しているかも分からないが、住民の皆様



池田龍之介 議員

早急に、議会傍聴できる設備を地区公民館に!

**問** 光ブロードバンド基盤整備事業、平成25年度、同26年度において、総事業費6億4300万円を投入し、事業の完成を見ているが、ただ敷設をしたままと感している。最終的な活用目的、目標は何か。進捗率は如何程か。

**答** (町長) 都市部との情報格差を投入して、技術は進んでいくばかり、今、如何にその技術を利用するかでしよう。もう少しスピードアップをお願いしたい。複数の方から、議会傍聴にはいきたいけれど足がないので、近くの公民館で傍聴できるようにして貰いたい。一人で見るより、数人で見た方が、町がどういことをしているのか、議会がどういっているのか興味湧き話題性もある。議会活性化特別委員会委員長報告に於いて、議会テレビ傍聴、生放送か録画放送かが考えられる。町が金を投入した事業、それを有効活用するため、議会との協議を求めるのは当然のこと。



松村 慶次 議員

和水平総合グラウンドの今後の整備改修は!

**問** 現在和水平総合グラウンドは、整備が進んでいない。今後の計画について伺う。

**問** 鳥獣による被害の状況及び今後の被害対策は。

**答** (町長) 先の住民投票で、菊水地区小学校建設については、耐震改修を進める方向性を頂き、先の臨時議会において耐震に関する設計委託料が可決され、12月定例会では、仮設のウォーキングコースの整備と郡民体育祭への対応を含めた砂場等の仮設置の承認を頂き、改修整備を行う。総合的な整備は、県にも協議・指導をお願いし事業の推進を進めており、活用に関しては、十分検討の上、有効活用が出来るように計画を定め、複合的な運動公園施設建設をという私自身の強い思いはある。

**答** (町長) 農作物の被害状況は、平成27年度で10ヘクタール、報告に上がらない面積としては2.3倍になるかと思う。対策は、メッシュ柵、電気柵の設置による被害防止策、猟友会、駆除隊、ワナの会による駆除を行っている。本年から通年駆除を行っており、イノシシの駆除頭数は、平成27年度は、211頭、28年度は、4月～11月までの頭数は、猟友会等の銃で60頭、ワナでの駆除が129頭、合計189頭駆除している。

**問** 県道16号線の交通安全対策を県に十分要望していただきたい。

**答** (町長) 不安な懸念の箇所を指摘し、県に要望している。

12月定例会 賛否一覧表

☆賛否が分かれた主な議案(陳情等以外)を掲載しています。

○は賛成 ×は反対

議案	議員名	生山 敬之	森 潤一郎	蒲池 恭一	豊後 力	荒木 政士	松村 慶次	小山 忠文	庄山 拓馬	池田龍之介	杉村 幸敏	笹淵 賢吾	高巢 泰廣	杉本 和彰
議案第86号	平成28年度 和水平町特別養護老人ホーム事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	※
発議第11号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出について	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	※

※議長は可否同数または特別議決の時以外は表決に参加しません。

討論の要旨

平成28年度特別養護老人ホーム事業会計補正予算(第3号)

議案の概要

人件費の補正及び給食業務委託の債務負担行為(※)補正

反対討論

池田 龍之介 議員  
給食の民営委託は、特別養護老人ホームの抜本改革にはつながらないと判断する。給食面だけの外注委託は時期尚早。抜本的改革を強く求めて、反対討論とする。

賛成討論

豊後 力 議員  
抜本的な対策をとったときに、町民、議会、町長の判断の中でしか出来ない。経費節減と入所者の健康管理のためにも、最善の

道を選んでいる。1億3900万円(29年度から30年度)でしっかりとした食のプランが出来るなら大いに賛成である。

反対討論

笹淵 賢吾 議員  
雇用の確保をどうするのか。安心安全な食が民営化によってなおざりにされる危険性をはらんでいる。今度の根本的な改革、その第一に行われる給食の民営化について反対を述べ、反対討論とする。

賛成討論

蒲池 恭一 議員  
一般財源繰り入れが、昨年3470万円、今年度当初予算で6490万円。一般財源等の投入のあり方としてしっかり考えていかなければならない。すでに町立病院は先行して業務委託している。なんら問題ないと思う。

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出

反対討論

生山 敬之 議員  
この制度がないより、あったほうが、立候補者数は増える要因の一つになるというは理解できる。

しかし、なぜ今なのか。今のままならば政治に不信感を持つ人はもっと増える。更に投票率が下がることにつながると考えるし、志の高い政治家が増えることには結びつかない。

※債務負担行為

地方公共団体が債務を負担する行為につき、その行為の内容として定めておくものであり、予算の一部を構成する。将来の支出を伴うもの。



笹 賢吾 議員

### 農業発展の 振興計画策定を！

**問** アメリカのトランプ氏が次期大統領に選出され、TPPから脱退すると表明。その後は日本とアメリカの二国間交渉のFTA自由貿易協定に進むとみられている。こういう情勢の中で本町農業に先が見えないなか本町農業、農家の経営を守り発展させるための地域や年代、労働力、販売などを考慮した、具体的な基本計画が必要と思うが計画はあるか。

**答** (町長) 基本計画は明確なものではない。  
**答** (農林振興課長) 具体的な数値を盛り込んだ計画を立てなければならぬ。  
**問** 特別養護老人ホームきくすい荘の給食の民間委託は300万円から500万円の経費削減のため人件費と食材を無くすとのことだが、これは臨時職員の解雇に繋がります。食材は遺伝子組み換え食品や農薬まみれの安い農作物や冷凍食品にならざるを得ない。給食民営化方針について伺う。

**答** (施設長) 給食の民営化は委託業者を選定し、施設維持管理費は町負担、食材と雇用は業者負担。現在の給食棟を利用し管理栄養士を1人配置する。食材は委託業者に任せる。6名の正職員は配置転換し、臨時職員3名は受託業者へ紹介したい。  
**問** 高齢者の健康増進のため、65歳以上や障がい者に三加和温泉交流センター、ロマン館への入館料助成を行ってはどうか。

**答** (健康福祉課長) 指定管理しているので経営の観点から検討の余地がある。  
**問** 高年齢者の健康増進のため、65歳以上や障がい者に三加和温泉交流センター、ロマン館への入館料助成を行ってはどうか。



荒木 政士 議員

### 三加和小学校に クーラー設置の決断を

**問** 10月2日の住民投票において耐震改修による統合が支持されたが、今の率直な思いと今後の進め方、決意を伺う。

**答** (町長) 正直に申して、非常に緊張している。住民の皆様の意向をしつかりと受け止め、耐震改修による統合を進めてまいりたいと強く決意している。まず県下で本町のみが未達成の耐震を、28年度の補正予算による事業として進め、一連の事業として29年度に統合に向けた大規模改修事業を進める為にも、県との協議を密にし、議会の協力をいただき進めてまいりたい。

**問** 三加和小学校にクーラー設置の決断を。この件は、9月定例会の一般質問で議員から提案・要望があっていたが、どう決断されたか伺う。

**答** (町長) クーラー設置について

では、29年度の当初予算で対応、着手したいと思っている。規模、工法等については今後協議してまいりたい。

**答** (教育長) 質問では、三加和小学校のクーラー設置という事であるが、町内には5つの小学校、2つの中学校がある。教育委員会としては特定の学校で協議するのはなく全小中学校を見ながら協議している。菊水区域の小学校統合も控えており、統合している三加和小学校全教室設置するのはなく、29年度に町内全小学校の低学年、1、2年生の教室と特別支援教室に設置の方向で現在考えている。新年度の当初予算編成にも協力をお願いしたい。

**その他の質問**  
・町立病院ときくすい荘の運営について



森 潤一郎 議員

### 町の包括ケア推進と 町立病院経営に関して

**問** 町総合計画に基づく第6期和水町老人福祉計画及び介護保険事業計画を進めていく上では「包括ケア」推進が欠かせない。ところが地域全体を支えるボランティア団体や老人会・婦人会など任意団体の減少が進んでいて包括的な見守り体制が危惧されている。町の包括ケア推進事業の進展状況を伺う。

**答** (町長) 同事業計画は3年を一期として進めるもので9年後の2025年を目標に町全体で老人福祉体制(健康維持・見守り・救急医療・長期療養体制など)を築くのが狙い。三加和地区の「夢ランド十町」・菊水・大江田区の「縁がわ事業」などは実績を上げており、そのような拠点事業を広げていきたい。老人会・婦人会など任意団体の減少は事実だが、町の組織は脱退しても地区の活動は存続

しており、それをどう活かすかが大事だ。  
**問** 包括ケア推進は医療との連携が核となる。町立病院をどう位置づけ活動するかが大変重要だ。病院経営について町長の基本姿勢を伺う。

**答** (町長) 町立病院は必ず存続させたい。どのような経営形態が望ましいか早急に「たたき台」をまとめた。現在検討中であるが、まとまったら運営審議会に諮り、さらに町民に広く意見を求めたい。  
**問** 菊水地区小・中学校統廃合事業計画の策定状況を伺う。

**答** (教育長) まずは小・中学校ともに早急に耐震化工事に着手したい。その後、教育環境の向上を図るための各種改修工事等の計画を立てる必要がある。開校時期については31年4月を目指したい。



小山 暁 議員

### まちづくり施策の 現状について！

**問** 斎場(火葬場)施設及び町立病院の今後の方針について伺う。

**答** (町長) 斎場施設の基本方針は、せきすい斎苑と三加和斎場を統合して、せきすい斎苑に一本化する方向で進めている。町立病院については、今後しっかりと検討していきたい。  
**問** 農業振興を軸とした観光産業『なごみ型』グリーンツーリズム事業の実態・現状はどうなっているのか？

**答** (町長) これまで、こんにゃくの手作り体験やまんじゅうづくり、或いは、わらじづくり体験や紙漉き体験等を実施してきたが、民家村では、木工・ガラス工芸・陶芸・そば打ち・カヌー体験等を通じて、都市と農村の交流を図ってきた。

**問** 町民と行政によるまちづくりと地域おこし協力隊の活動状況について伺いたい。  
**答** (町長) まちづくりは町民と行政が協力し合って、地域の活性化を目指さなければならぬと考えている。

現在、三加和地域では、八つの里づくり協議会が設立されており、菊水地域でも複数行政区の連携による協議会が設立され活動している。

地域おこし協力隊は、現在4名委嘱している。

**答** (まちづくり推進課長) 和水町は、平成23年度から地域おこし協力隊の制度を導入して6年目で、これまで8名を委嘱している。現在4名で、残りの4名の内、2名は3年間の任期を全うしており、あとの2名は途中で退任している。任期を満了した2名は、現在も町内に居住し、起業をおこなって生活している。  
**問** 三加和小学校通学道路の町道『西光寺・中林線』の進捗状況について伺う。

**答** (町長) 平成27年度は、有山交差点から中林方面へ145m区間の整備を進めている。事業完了予定は、平成32年までの計画だが、少しでも早く完了するよう追加予算を活用して事業推進を図りたい。  
**問** 旧春富小学校跡地に芸能養成所が来春開校するが、その計画と並行して、田中城跡資料展示コーナー整備プランの取り組みについて伺う。

**答** (まちづくり推進課長) 旧春富小1階西側の一室を資料展示室とする予定である。財源は、地方創生拠点整備交付金を活用し整備する。



### 玉名地域医療体制づくりは

**問** 玉名地域医療体制づくりに対するその後の考えは町長独断加入、その後独断で撤退表明とは議会軽視である。撤退表明に至るまでの経過を事細かく説明してほしい。又、そのことに対する自分の責任をどのようにとられるのか。

玉名市協議会に対する責任はどのようにとられるのか。病院建築費については、国等の交付金措置もあり、職員の身分も今のままとの事である。町立病院は存続するべきと思うが如何か。

### 人事異動に関する町長の責任について

**問** 11月1日の職員異動について、一度発令して3日後には異動の撤回。辞令は誰の名前で出ているのか、町長の責任は重大だと思うが如何か。

**答** (町長) 私の責任の重大さは身にしみて痛感いたしている事に対しては弁明の余地はない。責任については只、お詫び申し上げる。いまだ組合加入の道は残っている

**問** 11月1日の職員異動について、一度発令して3日後には異動の撤回。辞令は誰の名前で出ているのか、町長の責任は重大だと思うが如何か。

**答** (町長) 辞令については、町の教育委員会から出ている。本人に対してはこの場をお借りして、改めてお詫びを申し上げます。



### 議員定数を4人減らした場合、どれ位の費用削減になるか

**問** 育児・子育て支援策について、今後の具体的な取り組みと方針を伺う。

**答** (町長) 少子化対策の一つとして、夫婦の経済的負担軽減のため、不妊治療対策について検討をしている。

**問** 町内に暮らす2世帯・3世帯住宅への支援策(新築・リフォーム支援、固定資産税減免等)はどのような検討がなされ、どのような結論か伺う。

**答** (町長) 次年度以降の課題としてしている。

**問** (まちづくり推進課長) 財源の手立てがつかないということと、今年度の事業実施は断念した。

**答** 保育料の負担軽減策が財政的な理由で実現が難しいということならば、例えば議員定数を削減してでも財源を確保するというのも一つの方法だと考える。仮に議員定数を4人減らした場合、年間どれくらいの費用削減になるか。

**問** 議員4名分で、約2、020万円程度になる。

**問** 神尾小学校跡地活用について、現時点での企業誘致等の話はどれくらい進んでいるか。

**答** (町長) 現在、具体的な進展はない。私見だが、住宅や商業施設の立地場所として活用ができればと考えている。

**問** 軽トラ購入補助金制度について、どのような検討がなされ、どんな課題が出ているか。

**答** (町長) 名義はそのまま町外に住む親族等が利用する場合も考えられる。町の施策としての導入は慎重を期して考えなくてはいいけない。

**問** 中学校の統合について。これまで何ら議論がなされていない状況であるが、統合する・しないは先の話としても、早期に検討すべきと思うが、町長の考えを伺う。

**答** (町長) 学校力の差も出てきやすいという部分も含めて、検討は必要ではないかと考えている。



### 企業誘致に不可欠な用地、内田工業団地15haはどうなっている!!

**■企業誘致について**

**問** 企業誘致への取り組み及び方向性について伺う。又、企業懇話会や企業訪問など積極的に取り組まれているなかで、情報発信に欠けていると思うが如何か。

**答** (町長) 情報収集を行っており、町のホームページ等で発信していく。

**問** 今年度までに誘致企業として何社の進出があったのか。又、地場産業に於いて規模拡大もしくは縮小や撤退等は、条件の良い他の都市への移行があつていないか。

**答** (町長) 合併後に進出した企業として3企業が稼働している。平成29年度は芸能養成学校が開校(旧春富小学校)の予定。

**問** 企業誘致に対して受け皿の整備が合併以来何も成されていない。これは如何なる立地条件が良くても、和水の値が上がらないと思うが、内田工業団地の詳細を。

**答** (町長) 企業誘致に対する受け皿整備が出来ていない。工業団地の造成や優遇措置等の検討が急務と考える。

**問** 進出企業への恩恵だけでなく地場企業の優遇やサポート等出ているのか。

**答** (町長) 企業懇話会、企業訪問を通して、サポートに努める。

**■イノシシ対策について**

**問** 近年イノシシの被害が大きな問題となっているが、その対策と取り組みについて。

**答** (農林振興課長) ワナ免許取得の補助等により、駆除隊の組織強化を図っていく。

**■和水平の農業振興について**

**問** 和水平の稲作農業の展望について伺う。

**答** (農林振興課長) 和水の米は美味しいと、印象付ける米作りを進める。



### 誰が町職員の人事異動に関与したのか!!

**問** 人事異動がなされたが、その経緯と、その後の経緯について伺う。

**答** (町長) 住民投票により、菊水地区の小学校統合・菊水中学校の改修事業が進む目鼻がつき、学校統合推進室の人員増強の必要があり、結果的には、1名増員をして、現在2名体制となつている。諸般の事情もあり、1名の異動を取り消した。

**問** 辞令交付が何時なされ、どのような形で、本人から辞令の返却を求められたのか。

**答** (教育長) 11月1日人事異動の辞令交付をし、11月4日に異動について協議をし、辞令を取り消し、辞令を返して頂いた。

**問** その方は学校統合推進室室長を、しっかり支えたいとの思いがあつたと、聞いているが事実なのか。

**答** (教育長) 本人は、大変経験も豊富で、事業の進捗状況等、あわせて力になりたいという思いは持つておられた。

**問** 町長の思いがあつたにもかかわらず、本人も辞令を受けたいとの思いがあつたにもかかわらず、

**問** の思いがあつたにもかかわらず、なぜこのような顛末になるのか、そこには何が働いたのか。

**答** (町長) 町民の意見もあつた。教育長には私からお願いをした。

**問** 町民の方の意見というのは誰の意見なのか。

**答** (町長) それは言えない。

**問** その方に町長の支援者から「お前が」とか、何ですと「か」というような電話等があつたそうだが、認識されているか。

**答** (町長) 話は本人から聞いた。

**問** 町長の後援会の方が人事異動された方に「お前のごたつとが、なぜそがんとこに行くとか」という様な事が和水平町として当たり前なのか。

**答** (町長) 当たり前とは思わない。

**問** 町長の後援会から言われて、人事異動の辞令交付をしたにもかかわらず、人事異動がされなかつた。この重大な事実に関して、町長自ら、どういふ結末をとるのか判断して頂きたい。



### 町立病院は 経営統合から一時撤退!!

**問** 病院の経営改革について平成26年3月玉名地域医療体制づくり協議会に正式参加表明、28年6月協議会全員協議会で玉名中央病院との経営統合を表明され、その後7月28日議会全員協議会で、経営統合から一時撤退を表明。協議会委員である担当議員も知らない状況下で唐突に表明された。対外的な交渉事は議会と一体となり推進していくのが基本ではないか。この事は町長の猛省を強く求める。町長の考えを伺う。

**答** (町長) 一時立ち止まる事になり、今病院で検討している。医師確保は院長が努力されている。しかし、医師確保上近隣病院との密接な関係は断ちがたい面がある。財政的な面、永続的な問題等々を含めて事前検討をして議会と相談したい。

**問** 医療・介護の件は専門的立場の意見、診断をおおぐ事も必要でないか。

**答** (町長) 常勤医師4名いれば現状の救急・小児科・内科・外科の診療は維持可能な見通しを立ててやっている。しかし、どの様に立て直していくかという事は、改めて専門家の意見を聞く事も重要であると思う。

**問** 町立病院は将来的にも存続・継続させていくとの考えを12日の

## 山形県3町 『地方創生』の現状視察!

議会運営委員長 小山 暁

和水町議会では、平成28年10月26日から28日迄の3日間の日程で、山形県内の小国町・川西町・三川町の3町に的を絞り、現在町が抱えている課題の中から『町立病院を核とした医療体制づくり』(小国町)と『農業振興策』(川西町)・更には『自立したまちづくり』(三川町)を選定し、視察研修を行いました。初日に訪問した小国町では『小国町立病院を核とした医療体制づくり』の現状を視察しました。小国町は、新潟県と県境を接する人口8,034人、面積が和水町の約8倍の73.7km<sup>2</sup>、その内9割が森林で、森と人とのかかわりによって育まれてきた自然と人間の新しい共存関係の実現をめざして地方創生に取り組んでいる町でした。現在、町の高齢化率は36.7%で、保健・医療・福祉・介護の一元化をめざした『包括的ケアタウン構想』を推進しており、小国町立病院・健康管理センター・介護老人保健施設が一体となった施設『癒しの園』が、平成11年から12年にかけて、総事業費52億2千万円で完成しています。施設全体の面積は44,121m<sup>2</sup>でその内、町立病院が占める敷地面積は9,000m<sup>2</sup>となっており、病床数は55床で、診療科目は、内

科・外科・産婦人科・整形外科・小児科・耳鼻科・眼科・歯科の8つの診療が行われています。

病院の設計建設当時の基本方針の中には、大変参考になる具体的な指摘がありました。その中でまず現場の声や町民の声を取り上げた案を具現化していくための特別委員会を設置し、14回の委員会を開催したことや病院スタッフの設計への積極的な参画を促したり、ランニングコストを考慮した設計の中で、施設全体の集中管理方式の採用や障害者に優しい構造設計など数多くの知恵が集約された『癒しの園』の中核施設としての機能を有する施設整備が見事に形成され、経営面でも着実な運営方法がとられており、小国町がめざす『保健・福祉・医療・介護の一元化をめざした包括ケアタウン』のまちづくりが着実に浸透していることを肌で感じました。

2日目は、東北の米どころとして有名な川西町を訪問し『農業振興』について研修を行いました。川西町は、山形県南部の置賜地方の中心に位置しており、昭和30年に1町5村が合併して以来、今年で61周年を迎えており、人口15,873人、世帯数5,160

### 三川町議会から表敬訪問に 来られました。

広報調査特別委員会委員長 豊後 力

10月21日に三川町議会成田光雄議長はじめ事務局を含め10名の皆様より和水町議会へ表敬訪問をいただきました。三川町との縁は旧三加和町と同じネーミングということで合併前より交流があつております。今回の趣旨は議会基本条例の趣旨に沿って議会活性化に向けた取り組みを継続的に評価検証することを念頭に両町との意見交換が行われました。

10月末には和水町議会も山形県の小国町、川西町、小国町の3町を視察研修する予定としていたため、今回の表敬訪問で親睦を深めることができ、議員研修ではさらに意義のある研修に臨むことができました。



### 人／事／案／件

人権擁護委員が今年3月31日に任期満了を迎えるにあたり、町長から次の2人の方の推薦について諮問がありました。議会において2人の方を適任者と認める意見書を原案のとおり決定しました。

- 人権擁護委員として推薦される方々  
角田 公生さん (江田)  
まつお 憲成さん (山十町)  
松尾 憲成さん (山十町)

### お詫びと訂正

平成28年11月1日付で発行しました冊子の「和水町議会だより第40号」の11ページ下の段、住民投票結果報告の記事で、文頭「11月2日に住民投票が実施され」とありましたが、「10月2日に住民投票が実施され」の誤りでした。お詫びのうえ訂正します。

世帯で、面積が166.60km<sup>2</sup>の山形県内でも屈指の丘陵地帯で、町の基幹産業は、米を中心とした農業の町であります。水田面積約4,400haを有し、県内では庄内平野に次ぐ米どころとして有名で、主な品種は『つや姫』・『はねぬき』・『コシヒカリ』などが作付けされていますが、その中でも『はねぬき』は、全国の米食味ランキングで連続20年最高の『特A』に輝く、それこそ『生え抜き』のブランド米産地となっております。

川西町の主な農作物は、水稲が2,600haで、米の反あたりの収量が13俵から14俵取れるとの説明に驚きました。農業経営体数は1,350の経営体があり、その内認定農業者数が339経営体となっております。町では、安定した生産体制の確立を図るため、若手生産者の中からトップランナーを指定し、多様な担い手を育成することを川西町未来ビジョンの施策体系の中に位置づけて、強い農業の振興に力を入れています。女性農業者を対象とした認定制度の創設や支援・育成を図るきめ細かい戦略も町独自で策定されており、川西町の挑戦する農業戦略がすでに動き始めていました。

3日目は、庄内地方のほぼ中央に位置する三川町で『自立のまちづくり』について研修を行いました。三川町は、人口7,581人で、面積が33.2km<sup>2</sup>の山形県内では、最も小さな町ですが、平成の大合併の際、唯一合併をしなかつた町として知られており、町民一人

ひとりがパートナーシップを組み『自立のまちづくり』・協働のまちづくり』に町上げて取り組んでいます。

三川町では、人口ビジョン及び総合戦略が平成27年10月30日に策定されており、4つの基本政策パッケージが示されています。その戦略の中身は、雇用創出と人材育成、新しい人の流れの創出と定住化の促進などが主力となっておりますが、それに続く戦略として、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境の創出や安心・安全な暮らしを守るための地域と地域の連携を掲げながら、小さな町の新たな挑戦が始まっています。

一方、三川町議会では、町民との意見交換の場を多様に設けて、報告会などの公聴広報活動を強化するよう取り組んでおり、その議会活動の実績として、夜間議会の開催や町内会長連絡協議会との懇談会や商工会役員や農政懇談会やいは、小中学校児童生徒との懇談会等幅広い事業が展開されており、自立のまちづくりに向けた取り組みが目を引き、大変参考になりました。

今回、山形県内の3町を視察して感じたことは、どの町も行政施策の徹底した重点化とその実行性を高めるため、課題を整理し、その解消に向けた具体的な施策の戦略が連動した形で展開されており、山形県3町の地方創生が着実に根付いていることを強く感じた視察研修となりました。

※各議員の研修レポートは、議会事務局で閲覧できます!